

# 出雲市健康増進課

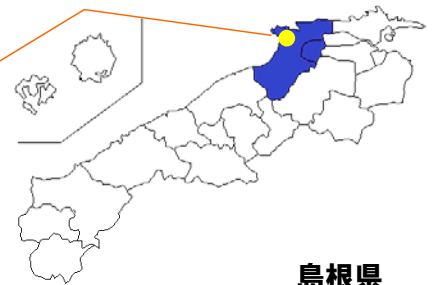
## 野菜大好き！親子で野菜作り

出雲市は、人口約17万6千人の「えんむすびの神」として全国に知られている出雲大社がある町です。出雲市では、「食育のまちづくり条例」を制定し、自然に恵まれた出雲地域において、健康で豊かな市民生活が育めるよう、「食育」の視点からの総合的なまちづくりの推進に取り組んでいます。

### 団体の概要

- 名称 出雲市 健康増進課
- 所在地 島根県出雲市今市町70
- 担当者名 林 恵子・飯塚 陽子
- 電話 0853-21-2211(代)
- FAX 0853-21-6965

出雲市



島根県

- HPアドレス <http://www.city.izumo.shimane.jp/www/toppage/0000000000000/APM0300.html>

### 食育活動の概要

#### ♥ 活動の動機・目的

平成17年12月に「出雲市食育のまちづくり条例」を制定し、平成18年6月に「出雲市食育のまちづくり推進計画」を策定しました。推進計画では、ライフステージごとに食育の推進に取り組むこととしています。幼児期の食育は親子で体験することに意義があると考え、平成17年度から親子で野菜作りを体験する「わくわく食育体験事業」を実施しています。野菜作りの楽しさ、大変さ、収穫の喜び、旬の野菜のおいしさなどを体験し、野菜に親しむとともに、食を大切に作る心を育てたいと思っています。

#### ♥ 活動の概要

平成17年度から実施している「わくわく食育体験事業」は、今年で7年目を迎えました。当初から、島根県立出雲農林高等学校と連携し、出雲農林高校を会場に農業体験と調理実習を行っています。この事業では、年度毎に参加者（就学前の子どもとその保護者）を募集し、だいこん、はくさい、かぶなどの秋野菜の種まきや苗植えから、草取り、間引き等の作業、収穫、そして、育てた野菜を使い調理して味わうまでの一連の作業を、9～11月までの間に4～6回開催しています。

平成23年度は、市内在住の4～6歳児と保護者9組が参加しており、農作業の指導は、出雲農林高等学校植物科学科作物栽培コースで野菜専攻をしている3年生13名が行っています。

出雲市ではこの他、小中学生によるお弁当コンテスト「お弁当オリンピック（おべりんぴっく）」の開催や、関係団体の協力のもと食育講座の開催など食育の推進に取り組んでいます。



## これまでの成果・課題

昨年度の参加者の方からは、「作ることの大変さなど、子どもなりに気づき発見することがあって良かった」「高校生の皆さんと交流が出来て喜んでいた」「親子で参加することで、共通の話題ができ、コミュニケーションが取れた」などの意見がありました。

このような事業に参加している親子は、ほとんどが「食」に関心がある親子です。「食」についてあまり関心のない親子が、もっと多く参加してもらえるよう、開催方法など検討していく必要があると考えています。

## 今後の構想

保育園や幼稚園とも連携して、今後も出雲農林高校の協力のもと、食に係わる体験活動に取り組んでいきたいと思っています。

## 第2回「わくわく体験事業」の様子(平成23年10月6日)

「わくわく体験事業」の第2回目です。

第1回目(9月12日)に種をまいた大根とかぶや、苗を植えたはくさいとキャベツの畑の管理(草取り、間引き等)を行いました。



畑は家族ごとに分かれていて、看板が立てられています。

おねえちゃんと、一緒に楽しいなあ～

楽しみで前の日から、わくわく♪です。

最後は、男子生徒さんによるクイズ大会で盛り上がりました。



はい!!! わかった!!!

・家では、祖父母が畑をしていますが、収穫された野菜しか見ていないので、その間の管理が大変な事を教えたいと思い参加しました。(by 保護者の方)

・考えている事と現実の違いに苦労しているようですが、この指導を通じ、生徒も良い経験をさせてもらっています。(by 出雲農林高校 片山先生)



本日のメニュー  
・秋野菜のポトフ  
・白菜サラダ

育てた野菜を使って料理を作りました。(11月17日)

## 担当者の思い



事業を通じ子ども達と高校の生徒さんが仲良くなり、子どもから生徒さんへ手紙やプレゼントが届いているようで、ほのぼのとした繋がりができています。体験以外のところでも得たものがあるようで、食べ物の大切さと共に、やさしい心も芽生えているようで、嬉しく思っています。

◀ 出雲市の担当者と農林高校の先生と生徒のみなさん